

平成 24 年 3 月 14 日

(名称) 旭川市地域公共交通会議

(代表者名) 赤岡 昌弘 印

1. 生活交通改善事業計画の名称

I Cカードシステム導入計画

2. 利用環境改善促進等事業の目的・必要性

バスの利便性の向上による利用促進及び移動の円滑化を図り、もって快適な生活及び住環境の確保に資することを目的とする。I Cカード乗車券の整備による定時性・速達性の向上を図る交通システムとして整備し、バスの利用環境改善を図る。

3. 利用環境改善促進等事業の目標及び効果

(1) 事業の目標

現金支払い者を全体の 60%・I Cカードによる乗降を 40%まで引き上げ、8万人にバスカードを配布する事を目標とする。

(2) 事業の効果

バス運行の定時性・速達性や利便性の向上により、バス利用者数を増加させ、もってマイカーからの利用転換による二酸化炭素排出量の削減に効果がある。

電子マネー化により、小銭の出し入れが無くスムーズな乗降が可能となる。

全乗降データが取れる事により、需要に合わせた効率的な運行計画が作成することができる。

4. 利用環境改善促進等事業の内容と当該事業を実施する事業者

(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）

(内容)

I Cカード車載器・自動販売機（チャージ・更新等）：旭川電気軌道株式会社

(2) 関連事項

(地方公共団体の各種計画との位置付け、計画内容)

現状は連携不可だが、将来に向けて位置付けを検討

(事業実施地域)

旭川市・東川町・東神楽町

<p>(他の交通事業者との連携状況)</p> <p>将来、道北バスのＩＣカードと共通利用を目指し、情報交換中。</p>
<p>(他の交通機関との連携状況)</p> <p>現状は連携不可だが、将来に向けて検討。</p>
<p>(公共交通以外の分野との連携状況)</p> <p>動物園の入場料の支払いなど、他の分野との連携を旭川電気軌道としては、視野に入れているが、現時点では、すぐにはできない状況。</p>
<p>(事業を実施すべき緊急性)</p> <p>現在ほとんどの都市とバス会社でＩＣ化が進んでいる中で、旭川電気軌道は、独自の磁気カードを平成３年から使用してきたが、機器の老朽化と部品の製造中止により使用不能となり、平成２４年３月末をもって終了することとなった。</p> <p>今後、現金と回数券のみの利用可能となるものの環境問題等から紙の回数券も廃止すべくＩＣカード化を急いでいる。</p>

５．利用環境改善促進等事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額					
平成２４年度（当該年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
ＩＣカード システム導 入計画	293,418千円	97,806千円	千円	千円	195,612千円
	100%	33.3%	%	%	66.6%
	千円	千円	千円	千円	千円
	100%	%	%	%	%
合 計	293,418千円	97,806千円	千円	千円	195,612千円
	100%	33.3%	%	%	66.6%
平成２５年度（翌年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
	千円	千円	千円	千円	千円
	100%	%	%	%	%
	千円	千円	千円	千円	千円
	100%	%	%	%	%

合 計	千円	千円	千円	千円	千円
	100%	%	%	%	%

6. 計画期間

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→），または横棒線（——）で記載。
●で年度ごとの事業着手日，事業完了日を記載

事業の名称	平成24年度				平成○年度				平成○年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
ICカードシステムの導入	7月1日着手 ●————● 3月31日完了											

7. 協議会の開催状況と主な議論

- ・平成23年12月20日（第1回） 協議会（旭川市地域公共交通会議） 設立
- ・平成24年2月28日（第2回） 計画内容について協議し承認

8. 利用者等の意見の反映

（第2回旭川市地域公共交通会議 H24.2.28での意見）

- ・紙の回数券からの転換を促すようICカードのプレミアを高くしてはどうか。
→ 検討する。
- ・道北バスとの連携は可能か。
→ 現時点ではできない。道北バス側の負担もあるため，今後，話し合いたい。
- ・汎用性を考慮しSuica, Kitaca, Pasmaなど全国共通で使えるカードを導入してはどうか。
→ 現時点では負担が大きいため難しいが，今後，検討していきたい。
- ・Suica, Kitacaの導入により売上げ増に，つながるのではないか。
→ 導入にかかる高額な負担を一時的にでも負うことは経営体力上，困難。

9. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	北海道上川総合振興局地域政策課長 畑島 久雄
関係市区町村	旭川市総合政策部地域振興担当部長 赤岡 昌弘（会長） 旭川市福祉保険部長 岸 等 旭川市都市建築部長 東 光男

交通事業者・交通施設管理者等	北海道旅客鉄道(株) 旭川支社 次長 和田 明宏 旭川電気軌道(株) 共栄営業所長 蟹谷 正 道北バス(株) 取締役営業部長 踊場 稔洋 北海道中央バス(株) 旭川営業所長 平瀬 公司 旭川地区バス協会 事務局長 矢野 寿典 旭川地区ハイヤー協会 会長 本田 秀明 専務理事 荒川 盛行 旭川地方個人タクシー協同組合 専務理事 立身 克夫 旭川地区交通運輸産業労働組合協議会 議長 阪本 次雄 旭川開発建設部旭川道路事務所 第一工務課長 飯田 茂 北海道上川総合振興局旭川建設管理部 事業室 事業課長 浜井 三樹也 旭川市土木部長 小寺 利治 東日本高速道路(株)北海道支社旭川管理事務所 副所長 今井 敏紀 旭川中央警察署交通課 規制係長 鈴木 謙二 旭川東警察署交通課 規制係長 桑原 知也
地方運輸局	旭川運輸支局 首席運輸企画専門官 高橋 秋彦 田中 勝利
その他協議会が必要と認める者	旭川市民委員会連絡協議会 理事 岡 愛三 北海道高等学校PTA連合会旭川支部 事務局長 宮川 明子 旭川市社会福祉協議会 常務理事 村田 国義 旭川消費者協会 監査 馬場 貞 旭川NPOサポートセンター 事務局長 森田 裕子 北星学園大学 客員教授 秋山 哲男 北海道大学大学院 公共政策学連携研究部 准教授 高野 伸栄 旭川大学 経済学部経営経済学科 准教授 吉地 望

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 旭川市6条通9丁目

旭川市役所総合庁舎9階

(所 属) 旭川市総合政策部

まちづくり推進課

(氏 名) 内田 和博

(電 話) 0166-25-5316

(e-mail) k_uchida@city.asahikawa.lg.jp